



GoodJob!

ぐりーんじょぶ NEWS

GreenJobNews

♪働く夢を現実に

香川県立川部みどり園

令和元年8月1日発行

No.28

働く夢を 現実に

川部みどり園就労移行支援班「ぐり〜んじょぶ」では利用者さんが夢に向かって様々な訓練に取り組み頑張っています。「ぐり〜んじょぶ」は就労支援員を社長、生活支援員をマネージャー、職業指導員をチーフ、利用者さんをスタッフとして園内外から訓練として仕事を受けています。今回は事務補助訓練の一つ、発送作業を紹介させていただきます。

題字：就労移行支援班利用者さん

園内の職員から発注を受けて、みどり園の広報紙や見学会の案内などの発送業務をしています。紙を目分量で三つ折りにすることが苦手な利用者さんは三つ折りツールを使っています。ツールでおおよその折り目が分かると、ツールを使わずに進めていけるようになる利用者さんもおられます。▼赤い印に合わせて折る



住所録を見て郵送・通郵便・手渡し の3種類に仕分けていきます。ミスをしたくないように数を確認しながら進めていきます。配送先が近い場合、地図を見て自転車や徒歩で配達に行くこともあります。地図を見て実際の場所を探すのは簡単ではありません。地図上で自分のいる場所を見つけられず道に迷い、同じ所を行ったり来たりしてくじけそうになるときもあります。目的地にたどり着いたときの利用者さんの安堵の表情と達成した満足そうな笑顔を見ると不安な中、頑張ってくれたのだと感じます。▼地図を見て場所確認

が出るまで待つてくださるので、自分の言葉で伝えられることもあります。話すことが苦手な利用者さんは事前にメモに書いて伝えます。みなさん、笑顔で広報紙を受け取ってください。「ありがとう。読むわね、頑張ってるね。」と声をかけてくださることもあり、次に手渡しするときの力となります。小さかった声を大きくし、緊張を和らげて優しい表情で渡すことが出来るようになります。発送作業は【指先を使う】【ツールを正しく使う】【正確に数える】【字を読む】【地図を読む】【初めて会う人と話す】など様々な要素が入っています。



宛名・切手貼りもツールを使って貼ると大きく歪むことなく貼ることができます。



封入の後、セロテープで封をしますが、こちらは封筒の幅に合わせて貼ることができています。

広報紙を手渡しするときには「みどり園です。広報誌をお持ちしました。ご一読ください。」と声かけして渡します。人見知りの利用者さんにとっては緊張の瞬間です。勇気を出して初めて会う方に声をかけます。緊張して大きな声を出せなかったり、言葉に詰まってしまったりと、1回では伝わらないこともあります。相手の方が利用者さんの言葉

発送の締め切り日に間に合わせることも大事です。どのくらい時間がかかるかを予想し、他の発注作業の締め切りも考え、仲間で話し合っけてスケジュールを組んでいきます。

発送作業が終わると、発注者に報告します。ここでも「ありがとう、またお願いします。」と“ありがとう”を貰います。“また、お願いします”も嬉しい言葉です。自分の仕事を信頼され、貰った言葉を力にして利用者さんは夢に向かって歩いていきます。

